

令和5年度 草加市立草加中学校「国語科」学習シラバス

教科の学習目標

【第1学年】

- (1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を身につける。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を身につける。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を身につける。

【第2学年】

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を身につける。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を身につける。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を身につける。

【第3学年】

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を身につける。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を身につける。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を身につける。
 - ◎自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。
 - ◎社会生活に必要な文章を読んだり、書いたりできる。
 - ◎進んで本を読むことができる。
 - ◎年1回の国語コンテストに積極的に取り組むことができる。

全学年共通事項

評価の観点・資料・評定

【評価の観点】

次の3つの観点について、ABCで評価する。

①知識・技能

言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書くことができる。目的や場面に応じ、文章中の情報について正しく整理することができる。

②思考・判断・表現

相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かに表現することができる。目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり親しんだりして、自分の考えを豊かに表現することができる。

目的や場面に応じ、適切に話したり聞いたりするとともに、自分の考えを豊かに表現することができる。

③主体的に学習に取り組む態度

自らの学習状況を把握し、学習課題に対し粘り強く取り組むことを通して、国語を尊重することができる。

【評価の資料】

- ・授業への参加の様子
- ・授業内での発表
- ・作文
- ・定期テスト
- ・コンテスト
- ・国語ノート、ワーク、書写の作品などの提出物
- ・漢字テスト
- ・音読

【評定】

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階で評定する。1年間通しての学年評定も3学期に行う。

教科の学習方法

- ・毎日の授業の中で集中して取り組むようにする。自分の考えをもち、積極的に表現すること。
- ・普段から本・新聞など文章に多く触れる機会を作るようにする。
- ・漢字など、習ったことは何度も復習しておくこと。
- ・丁寧な字を書くように意識すること。
- ・繰り返し学習する補充学習（漢字・文法）、読みを深める発展学習を進めていくとさらに国語力がつく。
- ・日常的に辞書・ICTを活用する習慣をつける。

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	<p>朝のリレー 野原はうたう 声を届ける 書き留める/本と出会う/調べる (A)</p> <p>1 学びをひらく シンジュン (B)</p> <p>情報を的確に聞き取る (A)</p> <p>漢字1 漢字の組み立てと部首 (A)</p> <p>2 新しい視点で ダイコンは大きな根? (B) ちょっと立ち止まって (B) 思考のレッスン1 意見と根拠 話の構成を工夫しよう (B) 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 情報を集めよう/情報を読み取ろう/情報を引用しよう (A)</p> <p>書写 硬筆展覧会にむけて (A) 執筆姿勢・楷書</p> <p>3 言葉に立ちどまる 詩の世界(B) 比喩で広がる言葉の世界(B) 言葉1 指示する語句と接続する語句(A) 言葉を集めよう 本の中の中学生 読書を楽しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴について自分の考えを持つ。 ・本やインターネットなどから必要な情報を集めるための方法を身につける。 ・日常生活の中からテーマを決め、材料を集めながら自分の考えをまとめる。 ・登場人物の心情を表す表現に着目して作品の理解を深める。 ・登場人物の行動から、その気持ちの変化をとらえる。 ・聞き手が知りたい情報を考えて、日常生活の中から交流を通して話題を決める。 ・漢字の組み立てと部首を理解する。 ・文章の中で使われている言葉の意味や内容をとらえる。 ・段落の役割や文章構成を考える。 ・語句の意味を的確に捉え、自分なりの考えを持つ。 ・観点を決めて多くの言葉を集め、日常生活を題材とした推薦文を書く。 ・情報を読み取り、適切な引用のしかたを理解する。 ・硬筆展覧会にむけての作品づくりに取り組む。 ・詩に描かれた情景や表現の効果を考える。 ・比喩について理解し、言葉について考えを深めたことをまとめる。 ・指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。 ・本からの情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る。
二 学 期	<p>4 心の動き 大人になれなかった弟たちに…… (B) 星の花が降るころに(B) 聞き上手になろう 項目を立てて書こう 言葉2 方言と共通語(A) 漢字2 漢字の音訓 (A)</p> <p>5 筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(B) 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう(A) 話題や展開を捉えて話し合おう 大阿蘇</p> <p>6 いにしへの心にふれる いろは歌/古典の世界 蓬葉の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉 (A)</p> <p>7 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す(B) 助言を自分の文章に生かそう 文法への扉2 言葉の関係を考えよう (A) 読書案内 (B)</p> <p>書写 毛筆展覧会にむけて (A) 楷書と仮名の調和・行書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・描写に着目し、登場人物の心情を捉える。 ・文脈の中の語句の意味をとらえ、情景を想像して読む。 ・登場人物の行動や情景描写などから作者の思いをとらえる。 ・表現の特徴や、時代の描かれ方などに着目し、自分を見つめ、生き方を深めていくことの大切さを考える。 ・共通語と方言の果たす役割について理解する。 ・漢字の音と訓について理解する。 ・記録の文章の構成に興味を持ち、図表の役割に着目して、事実と筆者の考えを読み分ける。 ・筆者の論と展開の特徴を理解し、説得力のある文章を書くために使ってみよう工夫を挙げる。 ・話の筋道を理解するには、原因と結果の関係を捉えることが大切であると理解する。 ・古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。 ・古典の世界に触れ、さまざまな作品があることを知る。 ・古文の表現の特徴を知り、古典の文章に読み慣れる。 ・故事成語の由来と意味を理解し漢文独特の言い回しに読み慣れる。 ・固定観念にとらわれずに考えたとき、価値が見いだせるものを挙げる。 ・日常生活や他教科の学習で生かすことができる場面を考える。 ・分析をするときの観点を決め、「書評をするときに使う言葉」を利用し、書評を書く。 ・文節どうしの関係、連文節、分の組み立てについて理解する。 ・毛筆、文字の大きさ、字形、配列を理解する。 ・毛筆展覧会にむけての作品作りに取り組む。
三 学 期	<p>8 自分を見つめる 少年の日の思い出(B) 文法への扉3 単語の性質を見つけよう (A) 随筆二編 構成や描写を工夫して書こう 言葉3 さまざまな表現技法 (A) 漢字3 漢字の成り立ち (A) 一年間の学びを振り返ろう さくらの はなびら (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や人物の描写に注意して登場人物の心の移り変わりとらえる。 ・語句の意味を正確に捉え、登場人物のものの見方や考え方に自分の意見を持つ。 ・言葉の並べ方の工夫や比喩について理解する。 ・観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力を伝える文章を書く。 ・単語の分類について理解する。 ・伝えたいことをフリップにしてまとめ、たがいに読みあい、自分の表現に生かす。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 ・詩の中の言葉や表現を読み味わい、ものの見方や考え方を広げる。

	学習内容	学習のねらい
一学期	<p>1 広がる学びへ 見えないだけ (A、B) アイスブレイク (B) 枕草子 (A、B)</p> <p>情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう (A) 漢字1 熟語の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の用い方や表現に注意しながら読む。 登場人物の言動や心情を表す表現に注意して読み取る。 情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季のとらえ方や感じ方について自分の考えを持つ。また、自分流の枕草子を書く。 目的や相手に応じて、必要な情報を整理する。 伝えたい事柄が効果的に伝わるように説明の仕方を工夫する 熟語の構成について理解する。
	<p>2 多様な視点から クマゼミ増加の原因を探る (B) 思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう (A)</p> <p>文法への扉1 単語をどう分ける？ (A)</p> <p>メディアを比べよう/メディアの特徴を生かして情報を集めよう/「自分で考える時間」をもとう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の姿勢・考えが日常においてどのような部分で表れているかを考える。 文章の構成や図表の使い方の中で、効果的であると感じたものを挙げる。 聞き手を想定して情報を集め、わかりやすい構成を考えて説明する。 活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解する。 メディアについて書かれた文章を読み、自分の考えを持つ。 メディアから適切な情報を得るために、手段や確認すべきことを理解する。
二学期	<p>3 言葉と向き合う 短歌に親しむ 短歌を味わう (A、B) 言葉の力 (B) 言葉1 類義語・対義語・多義語</p> <p>書写 硬筆展覧会にむけて (A) 行書・行書と仮名の調和 言葉を比べよう 翻訳作品を読み比べよう (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 短歌に示された語句の効果的な使い方や文章の描写の効果を理解し情景を想像しながら朗読する。 心情が伝わるように、描写を工夫して短歌を創作する。 類義語と対義語・多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意する 硬筆展覧会にむけての作品づくりに取り組む。
	<p>4 人間のきずな 盆土産 (B) 字のない葉書 (B)</p> <p>聞き上手になろう 表現を工夫して書こう 言葉2 敬語 (A) 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字</p>	<ul style="list-style-type: none"> 方言や心情を表す語句の効果的な使い方を理解し、読み味わい、人柄や心情を読み取る。 人物の言動や様子、心情を表す語句に着目して読み、人柄や心情をとらえ、家族の絆や関係について自分の考えを持つ。 敬語表現の特徴について理解し、使い方を身につける。 それぞれの立場から気付いたことや考えたことを出し合う。 伝えることを明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して手紙を書く。 同音異義語などについて、理解する
三学期	<p>5 論理を捉えて モアイは語る 地球の未来 (B) 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 立場を尊重して話し合おう 月夜の浜辺</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や表現の工夫に注意しながら、読み取る。 根拠を把握し、根拠に説得力があるかどうかを確認する。 自分の意見が明確に伝わるように、文章の構成を工夫する。
	<p>6 いにしへの心を訪ねる 源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 平家物語 扇の的 (A、B) 仁和寺にある法師―「徒然草」から 漢詩の風景 (A、B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭部分や、扇の的を朗読し、独特の調子やリズムに慣れ、古典に描かれたものの見方や考え方について考えを持つ。 作者のもの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 漢詩特有の言葉遣いや調子を読み味わう。
三学期	<p>7 価値を語る 君は「最後の晩餐」を知っているか (B) 「最後の晩餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。(A) 書写 毛筆展覧会にむけて (A) 行書・さまざまな書式・書初め 研究の現場へようこそ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 段落の役割や叙述の順序に注意し、内容を理解する。 文章を比較し、その効果を理解する。 文章の構成や表現に留意し、自分の好きな作品について論じる。 用言の活用について理解する。 毛筆展覧会にむけての作品作りに取り組む。 毛筆、文字の大きさ、字形、配列、行書の書き方を理解する。
	<p>8 表現を見つめる 走れメロス (A、B)</p> <p>文法への扉3 一字違いで大違い (A) 構成や展開を工夫して書こう (B) 言葉3 話し言葉と書き言葉 (A) 漢字3 送り仮名 (A) 国語の学びを振り返ろう 木 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表現の巧みさを味わい、描写の効果などを考え、内容理解に役立てる。 付属語について理解する。 気持ちが効果的に伝わるように、表現を工夫して書く。 方言と共通語の果たす役割について理解する。 送り仮名の付け方の原則を理解する。 題材を決め、事実や意図が効果的に伝わるように、構成や表現を工夫して書く。 筆者の考え方について、知識や体験と関連付けて、自分の考えをもつ。

3年学習予定 (A: 知識・技能 B: 思考・判断・表現)

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	<p>1 深まる学びへ 世界はうつくしいと (A, B) 握手 (B) 学びて時にこれを習ふ ―「論語」から (A, B) 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 漢字 1 熟語の読み方 (A)</p> <p>2 視野を広げて 作られた「物語」を超えて (B) 思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 文法への扉 1 すいかは幾つ必要? (A) 実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう (A, B)</p> <p>3 言葉とともに 俳句の可能性 俳句を味わう (A, B) 書写 硬筆展覧会にむけて (A) 行書・行書と仮名の調和 言葉を選ぼう (B) 言葉 1 和語・漢語・外来語 (A) 読書生活を豊かに 「私の一冊」を探しにいこう 本の世界を広げよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の工夫に注意して、筆者の自然に対する思いを捉え、自分の意見をもつ。 ・表現の工夫、設定の仕方などを捉え、作品を理解する。 ・人間や社会に対する自分の意見を持ち、作品を評価する。 ・漢文の言い回しに注意し、意味を捉え自分の考えを持つ。 ・情報の信頼性の確かめ方について確認する。 ・語句に関する知識を広げ、読んだり使ったりする。 ・筆者の論理の展開の仕方を捉えて評価する。 ・文章を読む際、具体と抽象の関係についてどのようなことに注意すべきかを確認する。 ・聞き手の心を動かすスピーチを行う。 ・文の成文の順序や構成の理解を深め、生活の中で生かす。 ・俳句を読み味わい、俳句の世界に親しみ、俳句を作る。 ・硬筆展覧会にむけての作品づくりに取り組む。 ・時間の経過により変化した言葉や世代による言葉の違いを理解し、分かりやすい説明になるように構成を工夫して書く。 ・和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語彙を豊かにする。 ・目的を持って本を読み、文章を評価し、考えを広げたり深めたりする。
	<p>4 状況の中で 挨拶 ―原爆の写真に寄せて (A, B) 故郷 (B) 聞き上手になろう 言葉 2 慣用句・ことわざ・故事成語 (A) 漢字 2 漢字の造語力 (A) 初恋</p> <p>5 自らの考えを 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう (A, B) 合意形成に向けて話し合おう</p> <p>6 いにしえの心を受け継ぐ 和歌の世界 古今和歌集 仮名序 君待つと 一万葉・古今・新古今 夏草 ―「おくのほそ道」から 古典名句・名言集 (A, B)</p> <p>7 価値を生み出す 誰かの代わりに (A, B) 情報を読み取って文章を書こう 漢字 3 漢字のまとめ 文法への扉 2 「ない」の違いがわからない? (A) 読書に親しむ エルサルバドルの少女 ヘスース (B) 書写 毛筆展覧会にむけて (A) 行書・行書と仮名の調和、身の周りの多様な文字 書初め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や語句の効果に着目し、人間や社会について考える。 ・人間と社会との関わりについて考え、自分の意見を持ち、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 ・慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし使う事ができる。 ・詩の表現の工夫に注意し、社会などへの自分の考えを持つ。 ・「批判的に読む」ことは、どういうときに必要かを自分の意見を考える。 ・合意形成をするために必要なことを理解する。 ・冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。 ・歴史的な背景に注意し、昔の人の心情や情景を読み味わう。 ・歴史的背景を想像し作者の感じ方を読み取り古典に親しむ。 ・古典作品についての文章を読み、考えを深め古典に親しむ。 ・筆者の主張を捉え、表現の仕方を評価し自分の考えを持つ。 ・社会生活で関心のある事柄を決め説得力のある文章を書く。 ・二年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 ・目的を持って本を読み、知識を広げ自分の考えを深める。 ・毛筆展覧会にむけての作品作りに取り組む。 ・毛筆、文字の大きさ、字形、配列、行書の書き方を理解する。
三 学 期	<p>7 未来へ向かって 温かいスープ わたしを束ねないで (A, B) 三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の可能性や困難、生き方について考え意見を持つ。 ・詩の語句の使い方に注意し、人間や社会について考える。 ・二年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れる。 ・三年間の学びを振り返りながら、自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。